

# ホタル学校だより



## 9月30日「山歩きイベント」 107人が健脚ぶいを発揮しました！

2023年9月30日（土）毎年秋に行われる恒例の「ホタルの里の山歩きイベント」を開催いたしました。まず「鳥川ホタルまつりフォトコンテスト」入賞者への表彰式を行い、そして「岡崎里山軽登山同好会」に感謝状を贈呈いたしました。これは登山道の整備を継続して行っていただいております、安全な山歩きにつながっていることから贈呈することになったとのことです。いつもありがとうございます。

さて、山歩きの開会式では、鳥川ホタル保存会の片岡会長や来賓の方々からご挨拶をいただきました。ホタルクイズはホタル保存会アドバイザーの竹内さんからの「○・×」クイズでは、正解を喜ぶ人、反対に肩を落とす人、みなさんの楽しい声が校庭に響いていました。竹内さんご指導の準備運動の後、いよいよ山歩きへ出発です。

4つのコースは、①鳥川アルプス縦走（京ヶ峯）、②ホタルの里展望（水晶山）、③巡礼の道（喜桜山）、④ホタルの里の名水・文化遺産巡り。コースタイムは2時間半から3時間半で、参加の最年少は6歳、最高齢は80代と幅広い年代のかたが市内外からご参加くださいました。まだ暑さが残る日でしたが出発から帰着まで、みなさん笑顔で歩かれていました。

無事に戻られたみなさんのご様子から、山のおいしい空気が体中にしみわたり、リフレッシュされたようで表情が輝いていました。

トレッキングイベントは毎月（6～8月を除く）行っています。みなさんのご参加をお待ちしております。



中根市長がご来校



岡崎里山軽登山同好会へ感謝状贈呈



山歩きコースに分れての開会式



さあ 出発！ お気を付けて



○か×でクイズに答える様子

## 岡崎市ホタル学校からのお知らせ

開館時刻については以下のとおりです。ご注意ください。

11月から2月末日まで 9時から16時

3月からは通常通り 9時から17時

※サポーター室（トイレ）は3月まで改修工事を行います。

工事期間中は館内のトイレをご利用ください。

NEW







## 「カワニナの里親」にチャレンジ！！



カワニナはゲンジボタルの幼虫の唯一のエサです。ホタル1匹が成虫になるために約60匹のカワニナが必要だと言われています。

この数年、鳥川のカワニナをなかなか見つけことができません。エサが少ないためホタルの飛翔数が減っており、まず今年のチャレンジとして「カワニナを飼育してみませんか」と声をかけてみました。

3組の家族が「カワニナの里親」として自宅で育ててくださることになり、9月に各家庭でのカワニナ飼育が始まりました。水槽での飼育なので水の交換は特に大変な作業になります。親子さんで協力して飼育し、3月の放流式での成長ぶりを見たいと思います。



カワニナを飼育容器に移している里親のご家族

## 旅する蝶「アサギマダラ」今年も飛来！



「アサギマダラ」がホタル学校にも10月11日に初飛来しました。「やっと来てくれた♪」とひと安心。鳥川町のイヌハサ地区には9月下旬から飛んでいるとの情報があり、今か今かと待ち望んでいました。これを目当てにホタル学校にお越しくださるかたもいらっしゃいます。

アサギマダラの中には台湾まで飛んでいくチョウもあり、1日で200kmも移動した記録もあるようです。すごいパワーに驚かされます！

鳥川の蜜で栄養をたっぷり蓄えたので、今頃は無事に目的地でヒラヒラと優雅に飛んでいることでしょう。

## 幼虫の数の確認と水槽の清掃 (ホタル保護活動勉強会)



10月21日(土)、ゲンジボタルの幼虫の確認と水槽の清掃を保護活動勉強会として行いました。

6月にホタル学校で産卵し、孵化した1,139匹をホタル学校で飼育し、今回のイベントで確認できた幼虫は422匹でした。この時期としての生存率は良好です。

この日は珍しく脱皮したての幼虫を見ることができました。脱皮直後は白っぽい姿です。幼虫は6回の脱皮を繰り返し成虫となります。

3月の放流式までに少しでも多くの幼虫が成長してくれるようお願いながら、飼育を続けています。

この日は水槽の掃除を兼ねて行い、フンなどの汚れが取り除かれ、きれいになりました。



幼虫をそっと取り出します



中央の白い幼虫は脱皮直後

## 市の天然記念物「トヨトミナシ」

「トヨトミナシ」は、岡崎市指定の天然記念物ですがピンチが幾度かあったようです。

推定樹齢300年超の大木でしたが、大きな台風の襲来で根本から折れたものの奇跡的に復活しました！



ホタル学校で実りました

岡崎市の天然記念物の「トヨトミナシ」の実から育てた木がホタル学校にあります。いまでは樹高5メートルほどになりました。この実は小さく、大きいものでも直径4cm程度、硬い上に渋く、サルでさえ食べない梨だと言われています。

ケムシに葉をすべて食べられてしまう事件！？もありましたが、めげずに成長する「トヨトミナシ」。これからも鳥川を見守ってくれることでしょう。